

第5回金融ハイレベル・パネル

# 静岡銀行におけるESG金融の取組み

株式会社 静岡銀行  
取締役常務執行役員  
福島 豊

# 静岡銀行の概要

基本理念 「地域とともに夢と豊かさを広げます。」

設立 1943年 3月 静岡三十五銀行、遠州銀行が合併し、現在の静岡銀行設立  
※2023年に創立80周年

## 【概要（単体・2021年12月末時点）】

総資産	14兆5,780億円
総預金	11兆4,151億円
総貸出金	9兆4,804億円
拠点数	国内203（県内171、県外32） 海外5（支店3、駐在員事務所2）
グループ会社（連結）	13社（他に持分法適用関連会社3社）

## 【本店営業部】



## 【しずぎん本部タワー】（2016年3月グランドオープン）



## 【シンボル・マーク】



# 静岡県の経済規模

全国シェア **3%**、都道府県別順位**10位**の経済圏

製造品出荷額順位は3位だが、工業だけでなく漁業や農業も上位

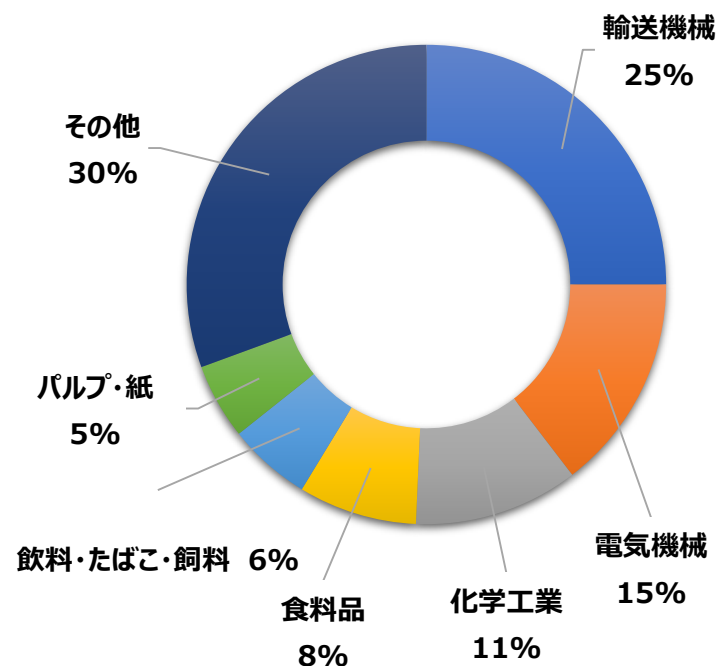
## 静岡県の指標

		全国順位
人口	364万人	10位/47(2019年)
世帯数	161万世帯	10位/47(2021年)
県内総生産(名目)	17.5兆円	10位/47(2018年度)
1人当たり県民所得	3,432千円	4位/47(2018年度)
事業所数	19万事業所	10位/47(2019年)
製造品出荷額等	17.2兆円	3位/47(2019年)
農業産出額	1,979億円	17位/47(2019年)
漁業漁獲量	17万トン	4位/47(2020年)
工場立地件数	54件	3位/47(2020年)
新設住宅着工戸数	2.0万戸	10位/47(2020年)

(出所) 内閣府経済社会総合研究所 ほか

## 静岡県の産業構造

製造品出荷額等17.2兆円 **全国3位** (2019年)



(出所) 経済産業省「工業統計調査」

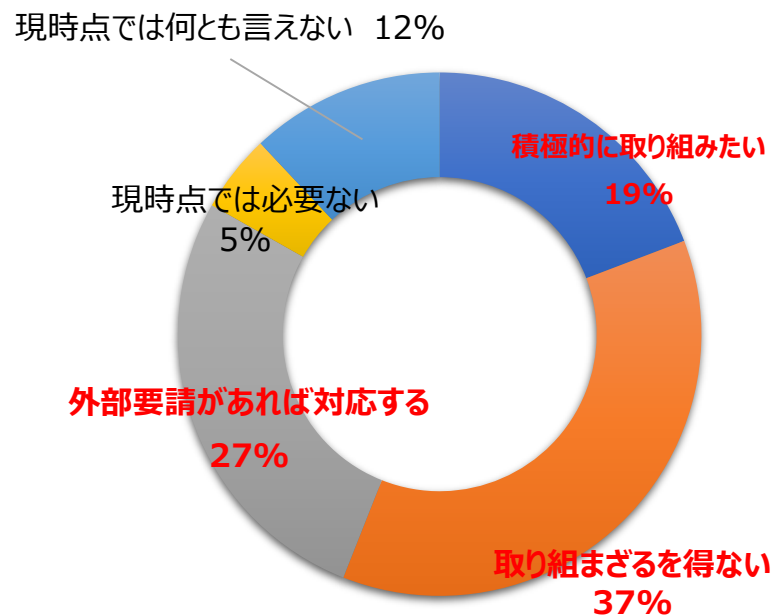
輸送機器の割合が高い

→EV化により産業構造が変化する可能性あり

# カーボンニュートラルへの取組み状況

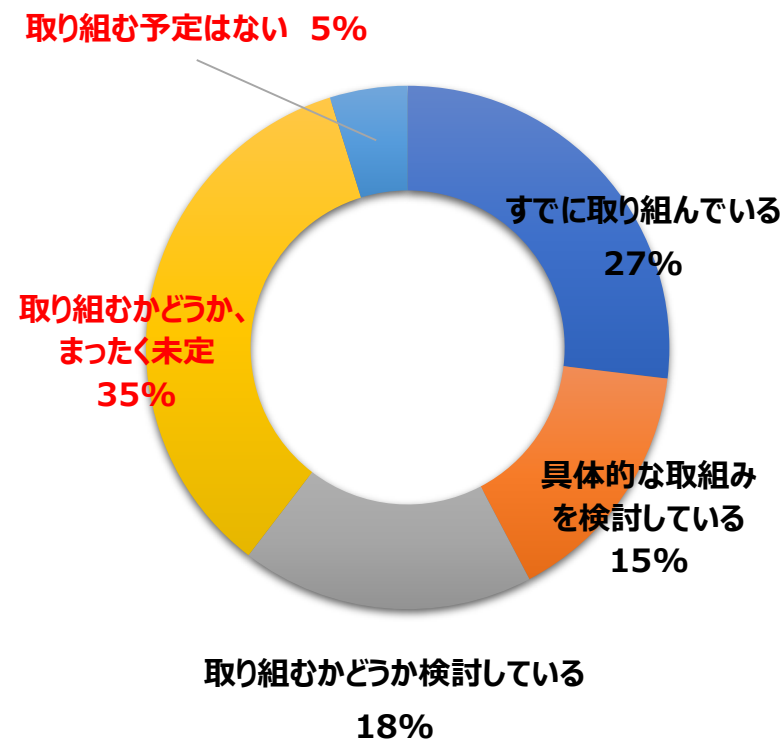
2021年12月、静岡経済研究所が県内企業へアンケート実施（2,000社中602社回答）

## カーボンニュートラルに対する考え方



取り組む必要を感じている企業は**80%超**

## カーボンニュートラルの取組状況



すでに取り組んでいる企業は**27%**

（出所）2022年2月静岡経済研究所 調査月報



# 持続可能な地域社会に向けた地域金融機関の役割

## 世界的な環境変化

グリーン



デジタル



ダイバーシティ



## 環境変化に気づかないと・・・



## 地域金融機関の役割

【企業側】

自社の強みを伸ばし、弱みを減らす

【地域金融機関】

企業の強み・弱みの分析をサポート



サステナブルファイナンスを活用

【静岡銀行の目標】

2兆円（2030年まで）

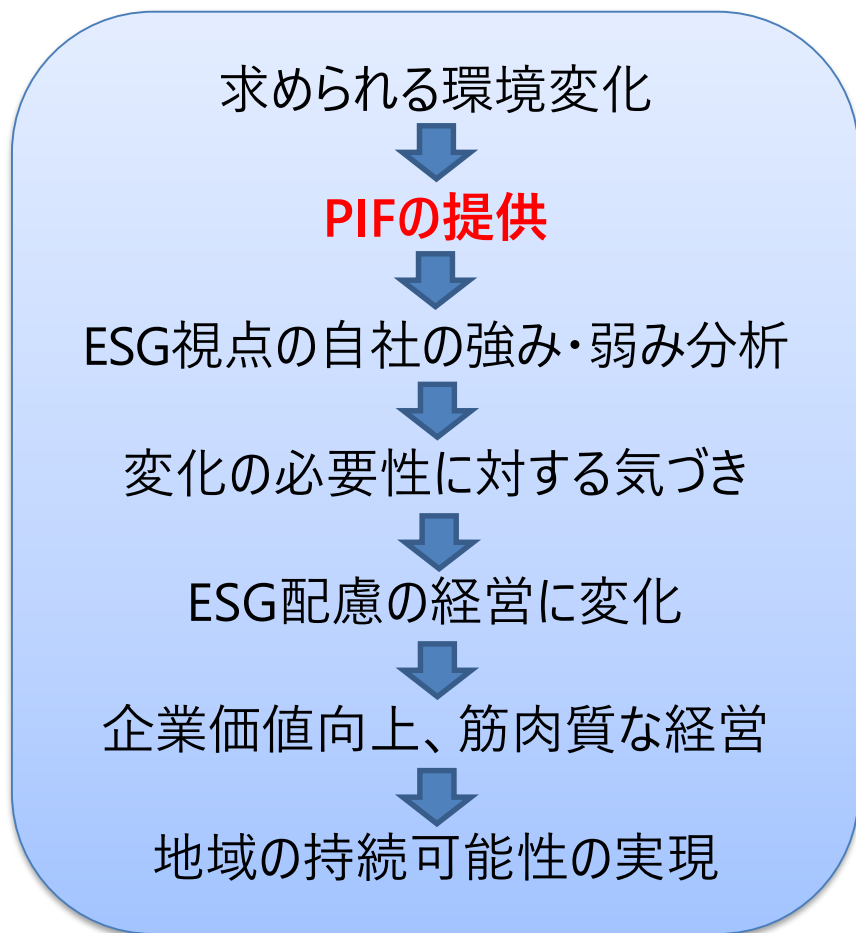


静岡銀行

# ポジティブ・インパクト・ファイナンスの取組み①

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）の提供により、ESG視点で自社事業を見直し変化の必要性に対する気づきを起点とした変革が企業の持続可能性を高める

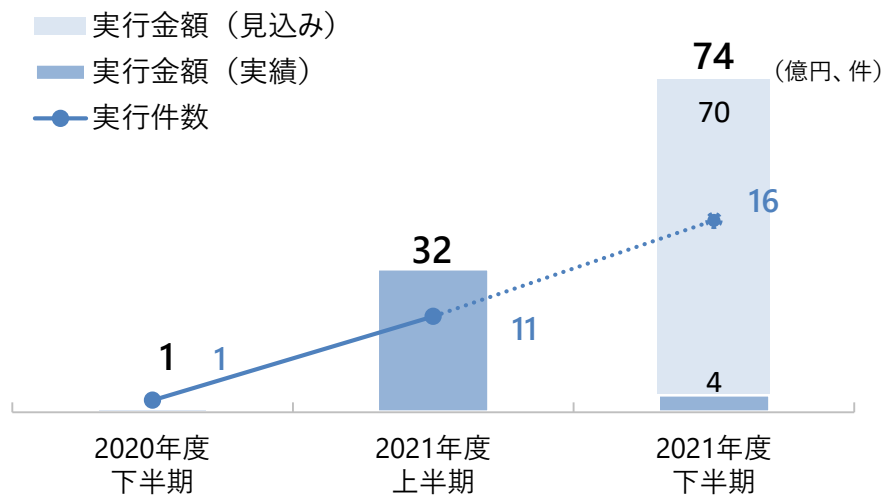
## 地域の持続可能性を高める



## ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは

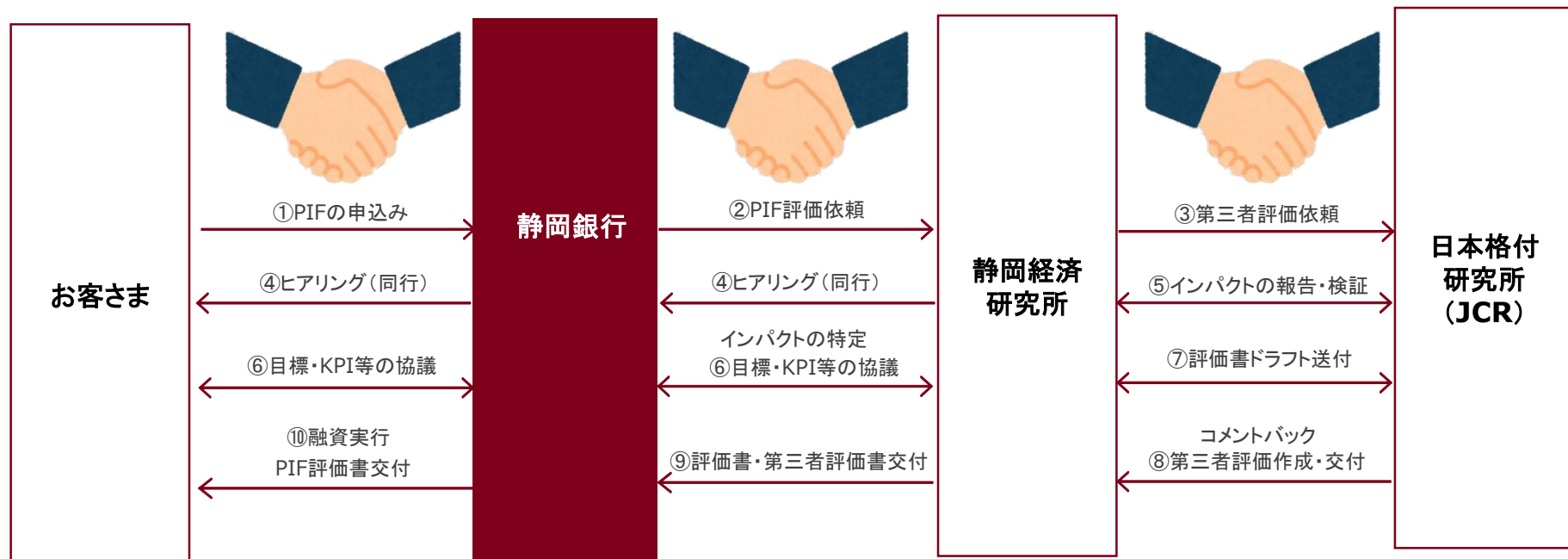
企業活動が環境・社会・経済に与える影響を分析し**プラスの影響の向上とマイナスの影響の低減**に向けた取組みを支援する融資

- 2021年1月 **本邦初**となる中小企業向けPIF実行
- 2021年11月「インパクト志向金融宣言」に地方銀行で唯一署名
- 2022年3月末に累計**30件約100億円**を見込む



# ポジティブ・インパクト・ファイナンスの取組み②

## ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)の仕組み



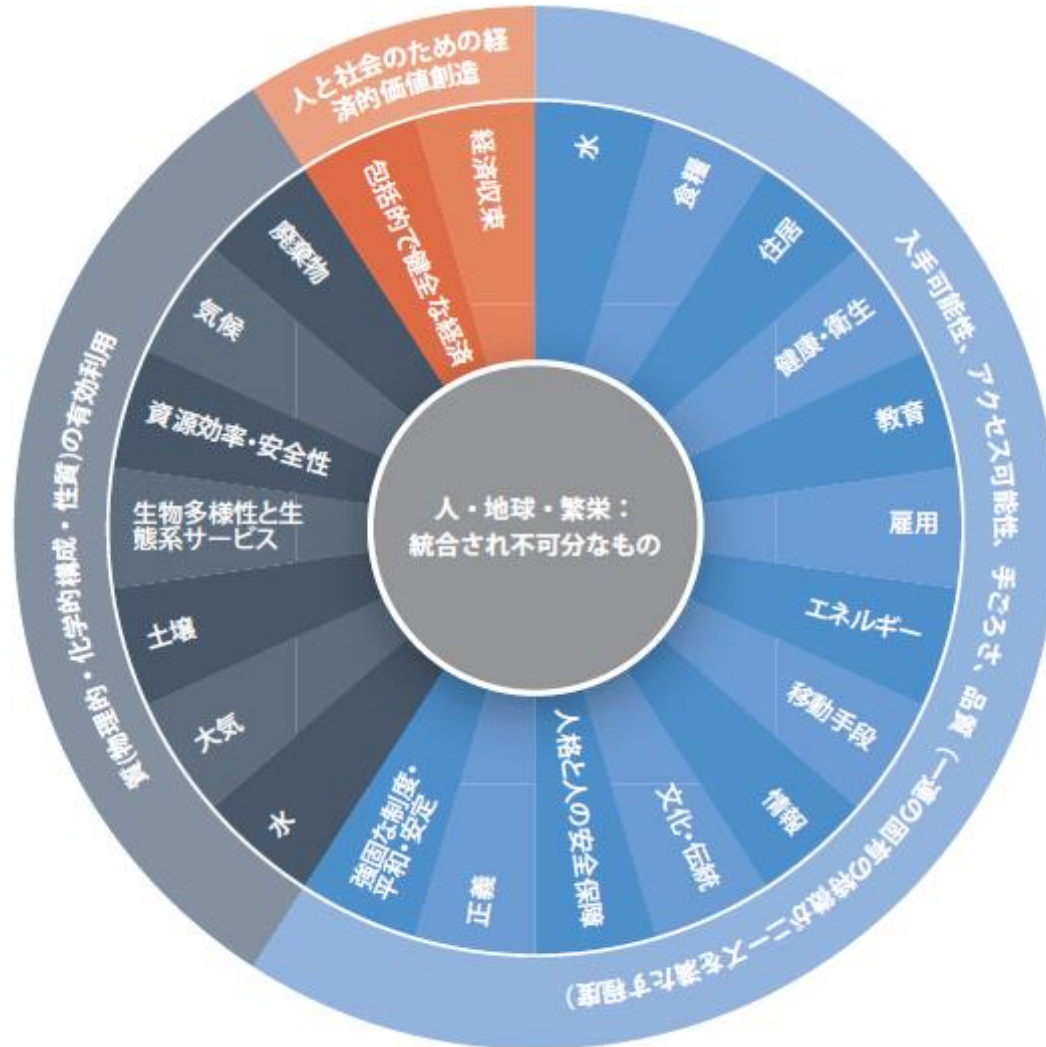
一般財団法人静岡経済研究所と地域金融機関ならではのインパクト評価を行う協力体制を構築

株式会社日本格付研究所の協力を得て、当行の体制整備が「ポジティブ・インパクト金融原則（UNEP FI 2017年）」の要請を満たしていることを確認済

# ポジティブ・インパクト・ファイナンスの取組み③

## インパクトレーダー

PIF金融原則では、**ポジティブ**、**ネガティブ**両面からのインパクト評価が必要  
当行は、インパクトの特定に環境省が推奨する**インパクトレーダー**を活用





# お客さまのメリット

① 自社の社会的存在価値の見直し

② SDGsを通じた強み・弱みの把握

## 環境

- 環境配慮型の製品サービス開発
- 廃棄物の削減
- GHG排出量削減

## 取引先

- 法令順守
- 調達管理等の内部管理体制強化
- B C P 対応

## 地域社会

- 製品・サービスを通じた地域課題解決
- 地域資源の活用
- 自治体・地域コミュニティとの連携

## 従業員

- 職場環境・雇用条件の改善
- ダイバーシティ対応（高齢者や外国人、障がい者の雇用）
- 資格取得、キャリアアップ支援

新たなビジネス展開  
**脱炭素への気づき**

他社との差別化  
PR効果、信用力向上

地域貢献  
採用への効果

エンゲージメント  
ロイヤリティ  
モチベーション

**企業価値向上**  
(ステークホルダーから選ばれる企業へ)

# 本邦初！中小企業版ポジティブ・インパクト・ファイナンス



## 【1年後のモニタリング】

- 脱炭素の意識が向上し、**GHG排出量算定**を開始
- BCP対応（津波対策）と労働環境改善のため、**工場移転を決断** ※新工場は**太陽光発電を導入**予定
- PIF取り組みの報道が、**従業員の採用活動にも好影響**

## 静岡銀行、中小のSDGs支援

### 平野ヒニール工業1億円融資

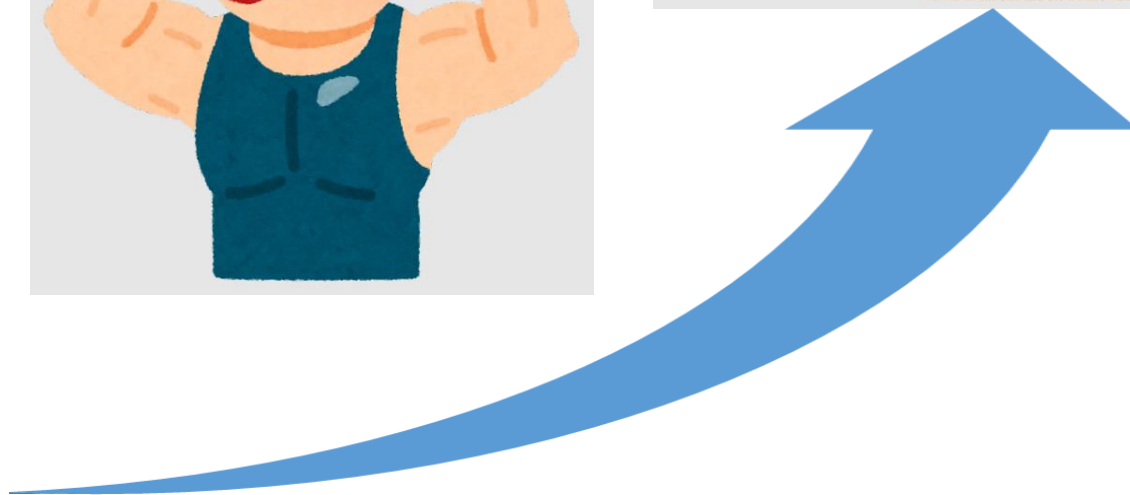
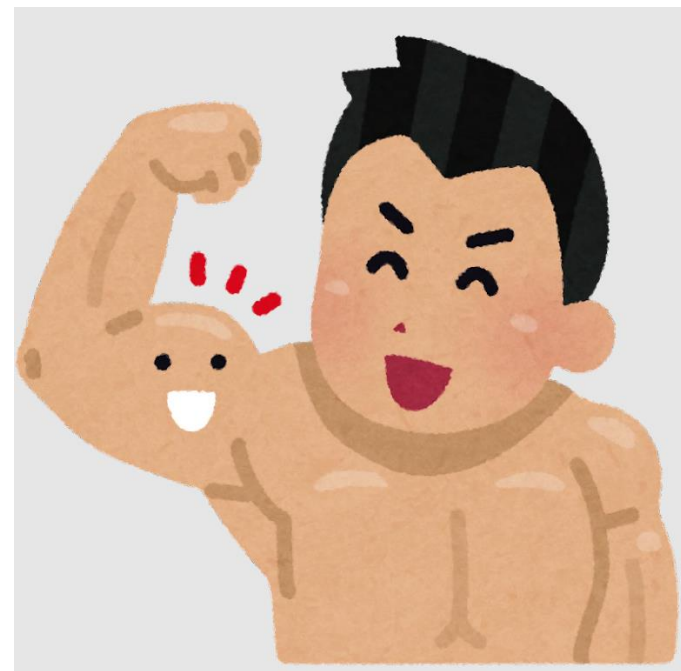
静岡銀行は1日、自発目標（SDGs）へなど発表した。地域金融機関が中小企業向けの取り組みを支援する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」により1億円を融資し初めて。

企業活動が環境や社会、経済に与える影響を分析・評価し、情報開

示するのが特徴。融資の裁断や縫製を手掛ける。外国人従業員の雇を通じてSDGsへの貢献を促す。融資後も目標の到達度などを定期的に調べる。静岡経済研究所の協力を得て中小企業を評価する体制を構築し、地域社会や本県経済に与える影響を考慮したという。平野ヒニール工業は繊維製品や帆布製品、自動車用シートの表皮を製造する。融資により銀行は投資家が強化を求めるSDGs関連の事業を拡大できる。借り手は企業価値の向上も見込める。

<2021年2月2日 静岡新聞>

ESGが**筋肉質**な会社を創る  
= **持続可能**な地域社会





ご清聴ありがとうございました。

